

日頃の成果を発揮

第9回甲賀市民体育大会

市体育協会が主催する甲賀市民体育大会が10月13日と21日に甲賀市陸上競技場で開催されました。より多くの方に参加してもらえよう昨年からは、中学・高校生、一般が参加する1部と小学生、マスターズが参加する2部の2部構成としており、市内外から567名が参加しました。マスターズの5000メートルを最初に20種目が競われ、次々と新記録が樹立されました。2部大会では、はーと貴生川の北中裕也選手が「ゴールの向こうの新しい自分に出会うために精一杯プレーします」と選手宣誓を行い、出場者は、日頃の成果を発揮していました。



▲小学生女子100メートル決勝

光をまとめてユニークな作品に

LED工作教室

土山小学校で10月11日、LED工作教室が行われ、3年生27名が参加しました。

子どもたちは、事前に制作した工作物にLEDを取り付け、6色の光が点滅するロボットやクリスマスツリーなどの作品づくりに挑戦しました。

この教室は、日本電球工業会が中心となり全国の小学校で行っているもので、市内にも事業所があるNECライティング株式会社の技術者が指導員として参加しました。

LEDの特長について説明を受けた後、結線の作業をし、点滅のスピードを調節したり、綿に包んだりして光を効果的に使ったユニークな作品を完成させました。



▲ちゃんとつくな

ふるさと料理に舌鼓

甲賀調理師会食育事業

柏木小学校で10月10日、地元で採れた食材を使った調理実習が行われ、6年生31名が甲賀調理師会の方に教わりながら、長さ10メートルもある巻き寿司などに挑戦しました。この事業は、ふるさと料理普及事業として同会が毎年実施しており、地元で給食用の農産物を育てる「食育畑」の生産者も協力し、旬の野菜を提供しています。今回提供されたかぼちゃは、素材そのものの甘みを生かしたハンバーグに調理されました。巻き寿司には、地元産の米やかんぴょう、シイタケの旨煮などがたっぷり巻かれ、子どもたちは、完成した料理に舌鼓を打っていました。



▲力を合わせて10メートルの巻き寿司に挑戦

「まなび」を通して異世代間交流

まなびの体験広場2012・甲賀市エコフェスタ

まなびの体験広場と甲賀市エコフェスタが10月27日、忍の里プララで同時開催され、多くの方が訪れました。

市内の小学生を対象としたまなびの体験広場では、間伐材を使ったヒノキのコースター作りや昔遊びなど様々な体験ができ、市内の高校生や、シルバー人材センター会員の皆さんなどが講師として参加しました。

中でも甲南高校の液体窒素を使った実験では、身近なものが瞬時に凍る様子に、子どもたちは声を上げて驚いていました。

また、エコフェスタでは、フリーマーケットや地産地消コーナーが設けられたほか、省エネ診断などが行われ、環境のために各家庭で取り組めることを学ぶ機会となりました。



▲折り紙で昔遊びを体験

いつもの散歩に防犯意識をプラス「わん」

岩上自治振興会によるわんわんパトロール隊発足式が10月21日、岩上体育館駐車場で行われ、愛犬10匹と飼い主など22名が参加しました。「わんわんパトロール」とは、愛犬家が、毎日の犬の散歩時に不審者を見かけた場合には通報したり、子どもや高齢者の見守りを行ったりし、安心・安全な地域づくりにつながる取り組みです。市内では、今年6月に土山地域で発足し、不審者による声掛けなどの発生件数が減少するなど、効果が現れています。会員証などが手渡された後、巡回パトロールを行い防犯を呼びかけました。現在、登録されている犬の数は43匹で、同会では今後さらに隊員を募り、年末の一斉見守りなど組織的な活動にむけて取り組まれます。

秋の里山体験



▲竹に巻いたパン生地を炉であぶる

里山で自然体験をする催しが10月21日、水口町松尾の里山で行われ、市内の親子58名が参加しました。平成24年度市民協働事業に採択されているこの事業は、NPO法人甲賀の環境・里山元気会が市と協働して行うものです。当日は、のこぎりを使って薪を作ったり、きのこの観察や里山ならではの遊びをしたりして秋の里山を楽しみ、自然の大切さや人と自然の関わりを学びました。中でも「竹パン」作りは、竹の棒にパン生地を巻きつけ、炉であぶって焼くもので、子ども達は、熱に耐えながら狐色に焼き上げ、できたての手作りパンを味わいました。

岩上自治振興会わんわんパトロール隊発足式



▲目印のバンダナを贈られる愛犬